

校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校
校長 村嶋 博史



R4,2,14

NO,37

確かな学力が身についています

先日行われました「熊本県学力・学習状況調査」(3年生以上受験)の結果、全受験教科(国語・算数)における学校全体の平均正答率は75.8%でした。これは、熊本県の平均正答率71.1%を4.7P、八代市の平均正答率70.2%を5.6Pも上回りました。学年別の平均正答率でも、全学年で県平均と同等か上回りました。特に、算数科は、全学年の全領域で、県や市の平均正答率を大幅に上回りました。(本校:80.5%、県:70.9%、市:70.5%)

これは、子供たちが、普段から授業中に、よく聞き・よく考え・よく表現したこと及び家庭学習で反復練習した結果だと思えます。また、「やつしろスピリッツ」(あいさつ・ききかた・そろえかた)や「自分の心に線を引く」の取組を毎日実行した結果、さらには、九州一周マラソンで体と心を毎日磨いた結果だと思えます。

さらに、この優秀な成績は、子供たちの頑張りはもちろんのこと、保護者の皆様の学校教育活動に対するご理解とご協力によるものとも思っています。今後とも、お子様の発展のために、ご家庭と連携協力した取組を行っていきたいと思っていますので、よろしく願います

なお、「熊本県学力・学習状況調査」の個人票は、後日お渡ししますので、是非ご覧ください。そして、お子様の頑張りや伸びをしっかり褒められてください。また、課題改善のための継続的な励ましも併せて願います。

今後、学校では、分析し見出した課題の克服のための取組を3学期中に行い、スムーズな進級・進学を目指します。また、課題克服のための有効な方法とその具体を考え、次年度当初から実施する予定です。



「傾聴」による心と体の健康を

話すことによって得られる満足感は、聴くことよりも何倍も大きいそうです。確かに、嬉しいとき、楽しいとき、悲しいとき、苦しいときなど誰かに話をすると、心が安らぎます。

また、人には誰も誰かの役に立ちたいという願望があり、人の役に立っていることを実感すると、同様に心が安らぐそうです。そして、人は、この実感をコミュニケーションを通して感じ取っているそうです。

最近の研究では、話すことによって、心の安らぎとともに免疫力が高まるということが証明されたそうです。ご高齢の方の場合は、寝たきりや認知症になる確率が低くなったそうです。このことから、話すことは、心と体の健康を保つ上で大切なことであることが分かります。

話すためには、聴く人がいなければいけません。ここで重要になってくるのが「傾聴」です。「傾聴」で大切にしたいことは、自分の価値観で相手を批評したり批判したりせず、ありのままを受け入れ(受容)たり、相手の立場に立って理解(共感)したりすることです。それは、うなずきながら、「へえー」「そうなんだ」「なるほど」とか「素晴らしい」「すごい」「すてき」という相づちの言葉を入れながら聴くことで、相手に伝わります。

人は話すことで元気になります。お子様が話したかったときには、ぜひ「傾聴」されてみてください。

学校ホームページでは、最新の学校教育活動の様子がご覧になれますので、是非ご覧ください。インターネットで「龍峯小学校」とご検索ください